

# 獨協大学平成21年度事業報告

- 東棟(新教室棟)の建設
- 敬和会館の建設
- 低炭素・省エネルギー計画(ESCO)事業
- 学部・全カリ活性化事業、大学院活性化事業
- 『学報』の復刊
- キャリア支援事業
- 奨学金の充実
- 大学創立四十五周年記念行事

平成21年度は、「キャンパス再編」の第2ステップとして、敬和会館、東棟(新教室棟)建設工事業や教室棟建設に伴い、環境教育拠点の形成を目指すべく、低炭素・省エネルギー計画(ESCO)事業に取り組みました。さらに、全カリ活性化事業(全カリ英語)や、キャリア支援事業強化の取り組みが、平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」に採択されたことに結びつきました。また大学の歴史をふり返り、未来へつなげるため、大学創立四十五周年記念式典を行いました。



## 平成21年度事業報告書(主な内容)

(単位:百万円)

	事業内容	結果・備考等	予算	実績	差異
教学関係	1) 外国語学部新学科(交流文化学科)の運営支援	1) 新学科の広報・周知活動の強化や旅行博見学とツアーガイドの実務実習、インターンシップ開拓等を行いました。	3.0	2.5	0.5
	2) 4学部活性化事業	2) 各学部(学科)に特化した活性化促進費の有効活用により、学部教育の活性化を図りました。	17.0	11.4	5.6
	3) 全学共通カリキュラムの強化	3) Webサイトの制作や全カリ英語のリーフレット作成、FDミーティングを行いました。	2.3	2.3	0.0
	4) 大学院の活性化事業	4) 3研究科の広報強化や学部との共催による外国語教育に関するシンポジウムを開催しました。	2.0	1.0	1.0
	5) 獨協クラス(獨協埼玉高校)の整備	5) 連携強化を図るため獨協埼玉高等学校教員との意見交換会を行いました。	1.3	0.1	1.2
	6) 国際戦略の拡大	6) 新型インフルエンザの影響によりNAFSA総会の出席、ブース設置等は取り止めたが、新規協定校の開拓に努め、新たに3校と協定しました。	3.2	0.9	2.3
	7) 教育研究支援の全学的点検と強化	7) 教育研究体制を強化する教育研究支援センター設立のための調査出張をしました。	1.0	0.1	0.9
	8) 教務事務体制の再構築調査	8) 東棟竣工に向け、新しい教務事務サービスのあり方等に関する調査出張をしました。	0.5	0.1	0.4
学生サービス・管理運営関係	1) 『学報』の復刊	1) 戦略的広報として、『学報』を復刊しました。	3.7	3.0	0.7
	2) 創立五十年史の編纂準備	2) 創立五十周年に向け刊行する『獨協大学五十年史』の準備を開始しました。	1.0	0.7	0.3
	3) 獨協大学父母の会支援	3) 事業計画に基づいた事業展開の支援を行いました。(人材派遣、事務用品等)	3.8	2.3	1.5
	4) ホームページでのWebシステム強化・充実	4) ホームページをリニューアルし、Webを利用した広報の強化・充実に努めました。	3.0	8.4	△5.4
	5) 図書館カウンター業務等の拡充	5) 開館日数の増加、開館時間の延長等学生のニーズに対応するためカウンター業務の拡充を図りました。	2.7	2.7	0.0
	6) 構内警備・防犯の強化	6) 構内警備の強化として、新たにガードマンボックスを設け、グラウンド門・南門における警備強化や部室棟に防犯カメラを設置しました。	4.3	8.7	△4.4
	7) C方式学外入試会場の新設	7) 新たにC方式において5ヶ所の学外試験会場を設けました。	7.0	4.1	2.9
	8) 大学創立四十五周年行事	8) 人間形成教育の原点を確認する一つの節目となる創立四十五周年の記念行事を実施しました。	2.0	7.1	△5.1
	9) 新菱冷熱奨学金の創設	9) 民間奨学金(新菱冷熱奨学金)創設による学生支援((22,000円/月額×10名)×12)を図りました。	2.6	2.6	0.0
	10) 教職員健康管理の推進	10) 新たにマンモグラフィ(希望検査)を追加し健康維持管理の増進に努めました。	0.9	1.2	△0.3
地域貢献関係	1) 敬和会館(子どもリーガルサービスセンター他)	1) 地域貢献施設(子どもリーガルサービスセンター、法律事務所)、社会人向け大学院教室のある教育施設として、敬和会館が平成22年2月に竣工しました。	970.0	977.7 (総工費19.8億)	△7.7
	2) オープンカレッジ等新規講座の開設・拡充	2) ファイナンシャル・プランニング講座の拡充と、交流文化学科キャリア支援対策講座(旅行業務取扱管理者試験)を新たに設けました。	4.4	2.0	2.4
施設関係	1) 東棟(新教室棟)の建設	1) 第2次キャンパス再編事業として、平成22年7月竣工に向け東棟を建設中です。	2,000.0	2,008.3 (総工費51.0億)	△8.3
	2) 敬和会館の竣工	2) 寮(敬和館)機能の他、地域貢献施設、社会人向け大学院教室のある教育施設として、敬和会館が竣工しました。(再掲)	970.0	977.7 (総工費19.8億)	△7.7
	3) 低炭素・省エネルギー計画(ESCO)事業 H21~22	3) 低炭素・省エネキャンパスへの取り組みとして、21年度は照明・空調の省エネ改修等を実施しました。		28.5 (総額2.4億)	-
	4) 第1棟耐震補強・防水工事	4) 第1棟を解体し、跡地に学生センター(仮称)を建設することから、工事は行いませんでした。	146.0	0.0	146.0
設備関係	1) 教育環境の整備	1) ・PC教室および貸出用のPCの更新を行いました。	23.8	14.9	8.9
		・図書館に車椅子対応型蔵書検索専用PC機を設置しました。	0.8	0.4	0.4

## 主な用語について

- **帰属収入** 当該年度に純粋に帰属する収入との意味で、資金収支計算書にある他人資金の借入金や次年度分の授業料等の前受金などは計上されない。
- **学生生徒納付金** 授業料、入学金、施設設備費、その他の実習費等。
- **手数料** 入学検定料、証明手数料等。
- **補助金** 国や地方公共団体等からの補助金収入。
- **雑収入** 退職金財団からの交付金等。
- **基本金組入額** 学校会計では、帰属収入から、学校の基礎となる資産と資金、将来計画のための資産と資金、基金として継続的に保持する資産、恒常的安定経営のための資金の4項目について基本金として確保し、残りを消費支出として運営に充てるように規定している。
- **消費支出** 当該年度において消費される人件費、教育研究経費、管理経費と資金の移動を伴わない退職給与引当金繰入額、減価償却額等が計上される。
- **人件費** 専任の教員、職員、及び非常勤の教員、アルバイト、パートの職員に関わる給与、賞与、各種手当、並びに健康保険、年金、労働保険などの大学負担分(所定福利費)と、退職給与引当金繰入額の総額。
- **教育研究経費** 教育研究に直接要する経費の他、教育研究を補助するための事務費、学生厚生に要する経費、入学試験の経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持する経費、並びにその施設設備に係る減価償却額が計上される。

# 平成22年度事業計画のポイント

## キャンパス再編が加速する本学の取り組み

### 今年度の取り組みをお知らせします

平成22年度は、「基本計画・第5次見直し(平成21～26年度)」の2年目に当たり、本学創立五十周年に向けて、基本となる「教育研究支援の強化」と「学士課程教育の充実」を目指し、大学改革とキャンパス再編をさらに加速させていきます。

### 教学関係

#### ○ 教育研究支援センターの設立準備費

#### ○ 学部・学科の教育研究の活性化

全学共通カリキュラムの教育効果向上のための支援  
教育GP関連支援

建学理念と教育目標に基づいた教育研究をより前進させ、学生の修める学習と研究成果をより高めるための支援を目的として「教育研究支援センター」を設立します。

また、学部・学科教育の充実とともに、文部科学省「平成21年度大学教育・学生支援推進事業[テーマA]大学教育推進プログラム」に採択された全学共通カリキュラム英語部門の取り組み「学士力育成に資するEGAP英語教育の充実」を推進し、本学の外国語教育、教養教育の要となる全学共通カリキュラムの充実を図り、学士課程教育の質の確保と学生満足度を確保していきます。

### 学生サービス・管理運営関係

#### ○ キャリアセンターによる学生への多面的就職支援・キャリアGP関連支援

経済不況に伴う就職難に対応するため、昨年に引き続きキャリアカウンセラーの増員等で多面的支援を行うとともに、文部科学省「平成21年度大学教育・学生支援推進事業(就職支援推進プログラム)」に採択された「キャリアカウンセリングの強化と地域の協力を得た就職支援」を推進します。

#### ○ 獨協大学父母の会からの奨学金事業支援費

獨協大学父母の会からの奨学支援を受けて、奨学金の充実をはかります。

### 今年度の重点項目

- 1 教育研究支援センターの設立準備費
- 2 学部・学科の教育研究の活性化  
全学共通カリキュラムの教育効果向上のための支援  
教育GP関連支援
- 3 キャリアセンターによる学生への多面的就職支援・  
キャリアGP関連支援
- 4 獨協大学父母の会からの奨学金事業支援
- 5 DAINETⅢ等大学基幹システムの再構築
- 6 学生センター(仮称)建設計画準備
- 7 キャンパス・ランドスケープ計画と省エネルギー  
事業の推進
- 8 地域と子どもリーガルサービスセンターの新設  
移転と広報

### 施設・設備関係

#### ○ キャンパス・ランドスケープ計画と省エネルギー事業の推進

国土交通省「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>推進モデル事業」に採択された内容を中心に、事業計画を推進します。

#### ○ 学生センター(仮称)建設計画準備

学生生活の快適性、安全性、利便性を高めることで学友会活動の活性化とサービス向上を促し、学生の総合的な人間形成に寄与することを目的として、学生センター(仮称)の建設計画に着手します。

#### ○ DAINETⅢ等大学基幹システムの再構築

現在構築されている教育研究系を中心とした全学ネットワークについて、配線工事、機器構成を含めたネットワーク全体の更新を行います。

### 地域貢献関係

#### ○ 地域と子どもリーガルサービスセンターの新設移転と広報

松原団地駅前の「敬和会館」に移転したことにより、より注目が集まるこの施設の利用者の利便を図るとともに、新たな広報展開を行います。



竣工間近の東棟  
(2010年6月撮影)

## 平成22年度事業計画書(主な内容)

(単位:百万円)

	事業名称	事業内容	予算
教学関係	1)「教育研究支援センター」の設立準備費	1)各部署に分散する教育研究支援業務を統合するとともに、ICT情報基盤等の整備も図り、さらなる教育研究活動の充実を目指します。	2.0
	2)新研究所支援(外国語教育研究所、情報学研究所(仮称))	2)教育研究支援センターの設立に伴い、新たなスタートを切る両研究所の運営支援を行います。	1.0
	3)学部・学科の教育研究の活性化	3)各学部・学科が様々な視点、発想により、独自の裁量で執行できる活性化促進費の有効活用により、教育研究の充実を図ります。	19.0
	4)新学科(交流文化学科)支援費	4)開設2年目となる交流文化学科の学習環境や教育活動に資する運営支援を行います。	3.0
	5)全学共通カリキュラムの教育効果向上のための活性化	5)全学共通カリキュラム活性化事業として、Webサイトの充実を図るとともに、FDの推進、講座開発の研究等により、カリキュラムの充実に取り組みます。	2.3
	6)e-learningコミュニティを媒介とした英語教育プログラムの開発等	6)授業教材「Criterion」等の活用に加え、新たな英語教育プログラムの開発に取り組みます。	3.8
	7)教育GP関連支援	7)文部科学省「平成21年度大学教育・学生支援推進事業」に採択された「学士力育成に資するEGAP英語教育の充実」を推進します。	7.5
	8)自己点検評価とFD、SD活動の推進	8)引き続き「授業評価アンケート」、「教育環境改善アンケート」を実施するとともに、FD、SDを推し進め、さらなる教育・環境改善に努めます。	18.4
	9)魅力ある大学院教育のデザインと志願者増加対策	9)魅力ある大学院のあり方を調査・検討します。併せて、大学院学生募集広告を強化し、志願者増を目指します。	2.7
	10)全学広報、入試広報の整備と活性化	10)戦略的広報として、ホームページをさらに見やすく、利用しやすい内容に改善します。また、入試広報では新聞、雑誌、電波、交通など多様な媒体を活用し、より効果的な広報展開を行います。	7.0
	11)国際交流活動の推進と学習の促進	11)世界の高等教育機関が集い、国際教育交流の場となるNAFSA総会に参加し、獨協大学を世界に向けてアピールするとともに、交流先となる他大学の情報も入手し、国際交流の機会を広げます。	2.2
学生サービス・管理運営関係	1)キャリアセンターによる学生への多面的就職支援	1)経済不況に伴う就職難に対応するため、引き続きキャリアカウンセラーの増員、各種講座・ガイダンス等の拡充、および就職情報提供の強化等により、多面的支援を行います。	12.8
	2)キャリアGP関連支援	2)文部科学省「平成21年度就職支援推進プログラム事業」に採択された「キャリアカウンセリングの強化と地域の協力を得た就職支援」を推進します。	3.0
	3)不況対応としての応急奨学金の拡充	3)学業継続が著しく困難な学生を対象に、応急奨学金の拡充を図ります。	6.6
	4)父母の会から奨学金事業支援費	4)父母の会からの奨学支援を受けて、奨学金の充実を図ります。	13.0
	5)父母の会から文化施設の無料(割引)利用制度加入支援費	5)父母の会支援により国立美術館等の文化施設の会員制度に加入します。	2.5
	6)インフルエンザ対策と抗体検査の学生補助	6)感染症対策として、手指消毒液・マスクの準備をするとともに、はしかなどの抗体検査の補助を拡充します。	1.3
	7)図書館サービスの拡充	7)開館時間の延長および土曜日や昼休み時間等に人員を増員し、サービスの拡充を図ります。	6.7
	8)獨協大学敬和会館・新敬和館等の運営支援	8)敬和会館には、竹ノ塚の女子寮「敬和館」と「地域と子どもリーガルサービスセンター・付設法律事務所」「社会人向け大学院教室」が入り、実質的な運営初年度となるため、様々な側面から運営支援を行います。	13.7
施設・設備関係	1)DAINETⅢ等大学基幹システムの再構築	1)現在構築されている教育研究系を中心とした全学ネットワークについて、配線工事、機器構成を含めたネットワーク全体の更新を行います。	40.6
	2)次世代事務管理システムの開発	2)現行のDREAMSシステムに代わる次世代事務管理システムの開発に着手します。	25.3
	3)学生センター(仮称)建設計画準備	3)学生生活の快適性、安全性、利便性を高めることで学友会活動の活性化とサービス向上を促し、学生の総合的な人間形成に寄与することを目的として、学生センター(仮称)の建設計画に着手します。	20.0
	4)キャンパス・ランドスケープ計画と省エネルギー事業の推進	4)国土交通省「住宅・建築物省CO2推進モデル事業」に採択された内容を中心に、事業計画を推進します。	247.0
	5)東棟(新教室棟)の建設と活用	5)7月に東棟が竣工し、最新多様な教育設備を擁した65教室の活用が始まるとともに、教務課等の配置により、教育環境の向上を図ります。	1,816.0
	6)第5棟の改修	6)東棟竣工に際し、第5棟のPC教室を一般教室に改修します。	178.0
	7)中央棟の老朽化対策と利用改善を目的とした改修工事	7)利用の利便性を考慮し、優先改修事項について工事を行います。	50.0
	8)第3棟、第1棟の取壊し	8)東棟の竣工及びキャンパス・ランドスケープ計画に基づき、両棟を取り壊します。	80.0
地域貢献関係	1)オープンカレッジ通年・半期講座の拡充、特別講座の企画	1)受講者の様々なニーズに応えるべく、開設講座を前年度から12講座増やし、150講座とし拡充を図ります。	4.9
	2)地域と子どもリーガルサービスセンターの新設移転と広報	2)施設が松原団地駅前の敬和会館に移転します。さらなる利用者の利便を図るとともに、新たな広報展開を行います。	1.0
	3)自治体、UR都市機構並びに地域市民との連携(意見交換会の実施、グラウンド貸出等)	3)草加市文化交流事業として、青少年イベントや市民行事に積極的に関わり、交流事業を展開します。また、近隣住民との良好な関係を築くことを目的として定期的な交流の場を設けます。	1.6